



さとう しゅうこう
佐藤修孝
(政凛会)

● ILC候補地として16年前に描いた シンフォニーランド構想を具体化すべき

質問 ILCの仮配置案が東北大学の佐貫准教授から設置候補地の伊手、米里で説明会があった。仮の中心点は大東町の大原付近という設定で、詳細な地質調査をするという事である。今日までの地質調査結果をみると、北の方に比較して南が弱いと報告されている。当初設定された中心点より10kmも南にスライドしたのは何故なのか疑問である。大事なポイントは県に確認すべきではないか。

市長 基本的にILC計画は東北全域に関わる世界的事業であり、一自治体が口を挟む内容ではなく、あくまで科学的に調査をし、その上で候補地を決定するものと認識している。しかし、疑問点は県に確認したい。

質問 中核研究拠点や交流居住地区のエリアは、県でグラウンドデザインを策定するとしているが、かつて合併前の水沢市でILCの誘致を見据え、用地を取得して構想を描いた経過があると聞いているが、その内容は。

市長 平成8年に羽田、黒石



ILC受け入れ候補地として16年前に描いた羽田・黒石をエリアとした学術文化都市構想

をエリアとした、シンフォニーランドと称する学術文化都市構想があった。しかし、あくまで立地は学術的にふさわしい場所という観点から誘致活動は前面に出せないという状況があった。

質問 現時点は、誘致活動の段階であり、県や一関市、そして経済界も誘致活動をしている。わが市も一緒に活動に力を入れるべきでは。

市長 中学生のつくば学園都市への派遣等も長い間継続している。できる事は最大限行う。

● 問題行動等対策実行委員会に期待される効果は？ ● 準要保護家庭にもクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を支給すべき ● 小中学校保健室にエアコンを設置すべき



たかはし まさいち
高橋政一
(市民クラブ)

質問 10月末に「いじめ、不登校に対して他分野連携で学校支援をする」問題行動等対策実行委員会が発足し期待感が膨らんだ。その内容と問題解決に向けた手だては。

教育委員長 当実行委員会は、不登校問題のみならずさまざまな学校不適応問題に対応し、学校や家庭に対する支援を目的として設置した。福祉の家庭相談員が各学校に向いて情報を得て、民生委員の方々とも連携をしながら家庭訪問を行っている。関係機関と連携しさらに充実を図っていききたい。

質問 学校教育法第19条では、「経済的理由により修学困難と認められる学齢児童生徒に対して、市町村は、必要な支援を与えなければならない」とされている。準要保護家庭に対しても、クラブ活動費、児童生徒会費、PTA会費を支給すべきではないか。

市長 準要保護に対する国の補助金の廃止に伴い、使い道を限定しない地方交付金に一般財源



様々な問題に対し協議が行われた「問題行動等対策実行委員会」

化されたため、自治体ごとに認定や基準や方法、援助する内容の違いが生じた。保護者の経済的事情にかかわらず、義務教育を確実に保証するために重要であると捉えていることから、改善を国に向けて要請していく。

質問 小、中学校保健室にエアコンを設置すべきではないか。

教育委員長 普通教室への設置は難しいとしても、児童生徒が体調を崩した時に静養する保健室には必要と考えており、関係部局と協議の上年次計画で設置を検討していく。